

羽生水郷公園さいたま水族館におけるクワイエットアワーの試行

県有施設でクワイエットアワーの導入を検討していくに当たり、さいたま水族館（羽生市）で試行を実施しました。光や音に過敏な発達障害のある方でも安心して利用できるよう、感覚過敏への配慮を行いました。

照明・BGMの調整

- 入口の照明を4割程度緩和
- 光が直接目に入らないようスポットライトの角度を調整
- BGMや館内放送、展示説明の音声を停止

通常時



試行時



カームダウン・クールダウン室の設置

- 感情やストレスが高まった時に落ち着くためのスペースを確保（館内2か所に用意）



イヤーマフ・サングラスの貸出

- 音や光が気になる場合に使えるようにイヤーマフとサングラスを用意

イヤーマフ



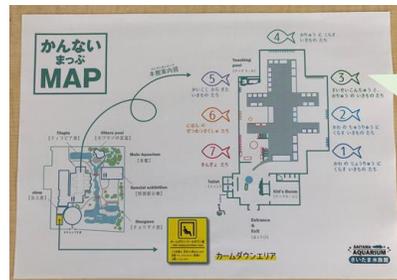
サングラス



※ イヤーマフとは、耳全体を覆うタイプの防音保護具です。

案内マップの用意

- 館内の展示配置と見学順をわかりやすく示した地図を配布



今いる場所が魚の色で分かるようにすることで、先行きが見通しやすくなるように工夫しています。

当日の様子

参加者 27人

〔 児童 13人 〕
〔 介助者 14人 〕



参加者の声

- ・ 程よい明るさで子どもたちも安心して参加できた。
- ・ 静かで過ごしやすかった。
- ・ カームダウン・クールダウン室の仕切りに隙間があると、子どもたちが気になってしまうので、改善されるとよい。